

腰痛ゼミナール in 米子報告

参加者：医療従事者（すべて総合病院のPT、うちおひとりは理学療法科長） 6名
一般（患者さん） 1名
計7名

アンケート結果より

1. セミナーをどこで知ったか

- ・ 知人の話から
- ・ mixi のコミュ
- ・ 知人の紹介

2. 受講動機

- ・ 知人の話を聞き、興味を持ったから
- ・ 腰痛に対する正しい情報を広めたい
- ・ 腰痛は怒りであるを読んで、腰痛が治った経験があるから
- ・ TMS 理論を知り、さらに知りたいと思ったから
- ・ 腰痛について知りたいから
- ・ 自分にも周囲にも腰痛を経験した、あるいは現在腰痛を訴える人がいるので、どういった対処をすればよいのか、しなくてよいのか知りたいから。
- ・ 腰痛があるから

3. セミナー内容について

- ・ 考え方や意識が変わるきっかけとなり、幅が広がった。メディアや EBM、ガイドラインのとらえかたをしっかりと考えないといけないですね。患者さんとポジティブな要素を引き出す、これが一番なのではないでしょうか。
- ・ フランクな感じでよかったです。
- ・ 参加者の話が聞けてよかったです。
- ・ とても分かりやすく興味深く拝聴しました。講師と参加者が机を囲んで視線を合わせられたことで、楽な気分で受講できました。
- ・ 表やグラフを使った説明で分かりやすいです。
- ・ 専門用語も多いので、一般の方には説明を加える必要があると思いました。
- ・ 腰痛が多いと巷で言われている職場なので、講演ができるといいと思いました。
- ・ レントゲンの恐ろしさを改めて考えさせられました。
- ・ 腰痛に対する自分の思い込みの意識が変わり、まだ「試してみる」という段

階ではありますが、実践してみたいと思いました。

4.その他

・今後こういう考え方が広がればと思います。そのためには情報発信をし続けていかないといけないです。

・TMS 理論がもっと広がり、腰痛 PT が減るとうれしいですね。そのためにもう少し宣伝して、受講者が増えるようにしたらいいと思います。でも今日は少人数で雑談ばかりで、それはそれでありかなと思いました。

・トリガーポイントは本当にあるのでしょうか？これもメディアに惑わされているのでしょうか？